


分野	44	防災・安全
施策	443	安全・安心な地域づくり
5年後の目標	自助、互助・共助、公助が相互に補完しあい、防犯・交通安全など、地域の生活の安全・安心をつくり守る力が強まっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	防犯啓発・活動支援事業		会計	款	項	目	1,733,364	防災・安全推進室
			一般	2	1	10		
事業の概要								
防犯委員会の活動や地域住民の自主的な防犯活動等に対し、活動支援を行います。市と警察が協定を締結し、市民、行政、警察の相互連携により、安心・安全が実感できる住みよいまちづくりを推進します。街頭防犯カメラについては、地域の自主的な取り組みによる設置手法を検討します。								


平成28年度の取組							
D (取組)	指標	自主防犯活動実施回数				単位	回
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	111(平成26年度)	目標	112	114	116	118	120
		実績	84				
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防犯意識の高揚を図るため、防犯委員と自治会が連携して防犯啓発事業や青色パトロール車での防犯パトロールを62回実施しました。 ・7月には「社会を明るくする運動」に参加し、駅・スーパー周辺にて啓発事業を実施しました。また、「府民防犯の日」に街頭啓発を実施しました。 ・10月には全国地域安全運動事業で街頭啓発を実施しました。また、光風台地域で各戸を訪問し家庭防犯の重要性を訴える防犯診断を行いました。 ・12月には長岡京市一円の年末安心パトロールを実施しました。 ・市防犯委員会に390,000円、5自治会に81,000円を補助しました。 							
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成28年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
		市内での窃盗犯認知件数	年々減少傾向にあります。		207
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年中の市内で発生した刑事犯は前年より25件減少し454件となりました。 ・年度により校区のパトロール回数が増減する実態がありますが、今まで継続して実施している防犯活動の成果であると考えられます。 ・市内の危険個所に防犯灯の新設、整備を行いました。 	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・100%の目標達成はできませんでしたが、地域の防犯意識を高めていくためには、継続した啓発活動を行う必要があります。 ・最新の情報を迅速かつ的確に発信できる仕組みを構築していくことが必要です。 ・犯罪防止のため、年々巧妙化する犯罪の手口について出前講座や広報等で市民に周知する必要があります。 				

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防犯意識を高めていくために継続した啓発活動を行います。 ・犯罪防止のため、年々巧妙化する犯罪の手口について、最新の情報を迅速かつ的確に発信します。

分野	44	防災・安全
施策	443	安全・安心な地域づくり
5年後の目標	自助、互助・共助、公助が相互に補完しあい、防犯・交通安全など、地域の生活の安全・安心をつくり守る力が強まっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	交通安全普及事業		会計	款	項	目	1,104,988	交通政策課
			一般	8	2	3		
事業の概要								
交通事故の減少を図るため、交通ルールへの遵守、マナーを普及するための指導者育成や、啓発活動を行います。特に、自転車事故が多いことから、自転車の安全指導や啓発を強化し、合わせて自転車通行空間の確保について調整を行います。また、新たな「ゾーン30」の検討や幹線道路における交通安全対策のための「事故ゼロプラン」の推進に努めます。								

平成28年度の取組							
D (取組)	指標	市内交通事故発生件数				単位	件
	現状(計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	199(平成26年中)	目標	193	187	181	175	169
		実績	194				
	指標	市内交通事故負傷者数				単位	人
	現状(計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	239(平成26年中)	目標	232	225	218	210	203
		実績	205				
	<p>・教員等(市内各小学校教諭・幼稚園教諭・保育士)を対象に、教員等が日常的に児童に対して交通安全教育ができる体制づくりを支援するため、指導者育成研修会を実施するとともに支援教材・資料等を提供しました。また、年長児を対象に交通安全行事「いちねんせいになるまえに」を、小学校高学年を対象に交通安全授業の振り返りとして「交通安全川柳」を、初めて実施しました。また高齢者を対象として、関連団体を通じ、チラシ等の情報提供と、交通安全教室を行いました。</p> <p>・市民に対する各種啓発活動は、高齢者と自転車運転者を対象とするものを強化し、毎月交通ボランティアや警察と協同による街頭啓発活動を行いました。例年通り四季の交通安全運動を実施するとともに、28年度は長岡第九小学校区ふるさとコミュニティ協議会とともに自転車交通安全行事を開催しました。</p>						
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成28年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	達成度合	市内交通事故件数・負傷者数	市内交通事故(人身事故)発生件数と市内交通事故負傷者数は減少傾向にありますが、平成28年中は市内交通事故発生件数が前年と比べて微増となりました。	208
		B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<p>・平成28年中の市内交通事故(人身事故)発生件数は、194件で平成28年目標の193件を若干上回りました。</p> <p>・また、平成28年中の市内交通事故負傷者数は205人で目標の232人を下回りました。</p> <p>・交通死亡事故については、平成28年中に交通死亡事故が市内で3件発生し、死者数は3人でした。また死者のうち2人は高齢者でした。高齢者は、全体に占める事故件数・負傷者数の割合と致死率が高く、今後も増加が懸念されます。</p>
課題等	<p>・全体に占める交通事故発生件数と負傷者数の割合が高く致死率も高い高齢者に対して、より効果的で適切な交通安全教育の手段・手法の確立が課題です。</p>			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	<p>方向性</p> <p>1: 計画通りに進めることが適当</p> <p>対応策等</p> <p>・交通安全教育については、体系的、計画的な交通安全教育を行うことが望ましく、引き続き知識や経験があり専従できる指導員から、幼、小・中学校や、高齢者の趣味のクラブやサークル等へ資料などを積極的に支援し、タイムリーな情報提供を行っていきます。</p> <p>・自転車事故対策についても、引き続き交通ボランティアや関係機関と協同によるマナー向上に向けた活動を街頭で行っていきます。</p>